学校の教育目標

生徒・保護者・教職員・地域が

『小国高に来て良かった 小国高にやって良かった 小国高に勤めて良かった

そして、小国高がここにあって良かった』と思える学校に・・・。

～「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育の実現を目指して～

教育基本法の理念、及び「令和２年度（２０２０年度）県立中学校・高等学校における教育指導の重点（「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して）と、本校の三綱領「尚志・勉学・自主」に則り、校長を中心とした指導体制を強化して、学校間及び学校と家庭・地域社会の連携のもとに、全教職員一体となり、生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、生徒が生涯にわたって探求を深める未来の創り手として必要な「生きる力」の育成を目指して、次に掲げる学校経営理念のもと、教育目標の達成に努める。

学校経営理念　教職員の共通認識として、

○ かけがえのない生徒の「命・心・生活」を預かっているという使命感

○ 全教職員が、心を一つに、力を合わせて、小国高等学校の教育を実現

「徳・体・知」の調和の取れた生きる力を備えた「総合的人間力」の育成

・生徒が伸びる、生徒を伸ばすという、明確な視点を持つ

※ 日々の授業や各行事・活動の意味や意義を確実に押さえて取り組む

・多様性のある教育、多面的な教育の実践

⇒　「皿を割ることを恐れずに」何事にも前向きにチャレンジする!!

・教育上特別な支援を必要とする生徒に対しての「個別の教育支援計画や個別の指導計画」を基にした個別的な対応の充実

【求められる教職員の資質】　①愛情　②温かみ　③使命感　④熱意　⑤誠意

学校教育目標

基本的人権の尊重に基づき、生徒一人一人に対して深い愛情と理解をもって、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「最適な指導・支援や合理的配慮」を行い、徳（豊かな人間性）・体（健康と体力）・知（確かな学力）の調和の取れた生きる力を備えた総合的人間力の育成に努める。

また、郷土に思いを馳せ、生涯にわたって郷土に誇りを持てる人材に育てる。

※「最適な指導・支援や合理的配慮」

・丁寧で柔軟性のある、的確で温かみと深い愛情に基づいてきめ細やかな対応

・特定の教育法や技法・手段等に固執せず、状況やニーズに応じて最適なものを組み合わせて行う専門性の高い教育

実践重点事項

（１）「徳育・体育・知育」の三育並進による知性と品性を備えた生徒の育成

ア　機会を捉えて、生徒への「人としての在り方生き方」に関する講話の実施
イ　読書の奨励による情操の涵養
ウ　徳育あっての知育、体育の貫徹（夢・ロマンを語る教職員）

（２）志を高く（尚く）掲げ、自主的で意欲的に学び続ける生徒の育成

ア　主体的な学習姿勢の定着と予習復習の習慣化
イ　規則正しい家庭生活の励行（宅習開始、就寝及び起床時刻の３点固定の奨励）
ウ　分かる授業、楽しい授業の創造

（３）基本的生活習慣を確立し、情操豊かで社会性を備えた生徒の育成

ア　適宜、迅速、繰り返しの指導による基本的生活習慣の確立
イ　時間の厳守、あいさつの励行、掃除の徹底、端正な整容等の徹底
ウ　部活動の活性化による協調・友愛の精神の涵養

（４）適性を見極め、主体的な進路選択のできる生徒の育成

ア　進路情報の積極的な提供を通しての進路意識の高揚
イ　二者、三者面談による進路相談の充実
ウ　キャリア教育による職業観と勤労観の醸成

（５）生まれ育った郷土に感謝し、郷土を誇れる生徒の育成

ア　小・中学校及び大学との連携事業を通した小国郷活性化への協力
イ　ボランティア活動等を通した、奉仕の精神と郷土愛の醸成
ウ　地域との触れ合い、幼児・高齢者との触れ合いを通した、家族や地域・社会の一員としての意識の醸成

めざす学校の姿　「生徒たちが笑顔で登校し、夢の実現が叶う学校」

求める生徒像

〇基本的生活習慣が確立し、自ら考え、自ら行動する自主・自律の精神に溢れる生徒
〇個性の伸長と社会性の涵養を図り、素直で思いやりのある心、感謝の心を持った生徒
〇徳育の成果に裏付けられた知育・体育の方針を貫き、将来のリーダーになることをしっかりと自覚し、他者のために学び、実践する生徒
〇郷土に感謝し、郷土を誇れる生徒

求める学校像

〇安全管理や危機管理がなされている安心･安全な学校
〇生徒や保護者の心や思いを第一に考える学校
〇保護者や関係者の満足感・安心感の得られる専門性の高い教育を実践する学校
〇保護者や地域から信頼され、期待され、愛される学校

求める教師像

〇生徒を愛し（愛情）
　生徒を観つめて（可能性）
　　生徒の道を求めて（夢や希望）
　　生徒と共に歩かん（共生）
〇組織の一員として自覚と責任を持ち、見識・人格の向上に努める教師
〇生涯にわたって学び続ける教師

具 体 的 な 取 組

〇生徒の実態や教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

新しい教育要領・学習指導要領に基づき、社会に開かれた教育課程を編成するとともに、教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを推進する

〇教職員の専門性の向上

ＯＪＴで、教科指導や日常生活の指導等の専門性の向上を図る。

〇キャリア教育の充実(自身の変容や成長を自己評価できるキャリア･パスポート作成)

生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる資質・能力・態度を身に付ける特別活動と教科指導等の充実

〇進路指導の充実

一人一人の生徒に応じたきめ細かな系統的な進路指導により、生徒が自己の特性等を知り、将来に対して目的意識を持って、自己実現が図れるようにする。

〇安心・安全な学校づくり

・学校安全に関する研修会の開催と防災教育及び避難訓練等の各種訓練の充実
・自ら安全に行動し、他者や社会全体の安全に貢献できる資質や能力の育成

〇人権尊重、人権教育の推進

教育の根幹に人権教育を据え、生徒にしっかりと寄り添い、一人一人を大切にした教育を推進するとともに、全教職員の人権意識と実践的指導力を更に高める。

〇道徳教育の充実

人としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行い、道徳教育の充実を図る。併せて、情操モラル教育の推進とよりよい言語環境づくりに努める。

〇命を大切にする心の育成

家庭や地域社会と連携･協働し、いじめや不登校問題等に適切に対応するとともに、心に響く指導を通して、命を大切にする心や他者を思いやる心を育成する。

〇性に関する指導（性教育）及び食に関する指導（食育）の充実

生徒の将来の豊かな生活の実現のため、性教育と食育を計画的に実践する。

〇保護者とのパートナーシップ、ＰＴＡ活動の充実

学校と家庭等との信頼関係をもとにした、生徒を育む環境づくりを推進する。

〇関係機関とのネットワークの充実

・小・中学校及び大学との連携事業を通した小国郷の活性化
・「小国高等学校の魅力化と永遠の発展の会」との更なる連携

〇積極的な情報発信

学校ホームページや広報誌等を充実させ、本校教育の今を積極的に発信する。

〇働きやすく、働きがいのある職場環境づくり（ワークライフバランスの実現）

風通しが良く、自由にものが言え、生徒のつぶやきや思いをキャッチできる職場

〇学校裁量予算の円滑な執行と環境への配慮

全教職員が一体となり、ムダを省いた効率的･効果的な予算の執行を行うとともに、組織的な環境保全及びエコオフィス活動に積極的に取り組む。

〇学校評価を踏まえた学校改革の推進

学校経営全般にわたる学校評価に取り組み、学校経営を改善し、学校改革を進める。